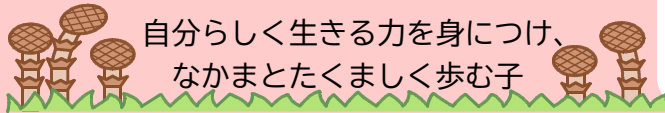




TOGO! だより



自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和4年9月9日 第18号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

9/1(木) 小川公民館長さんを東郷小にお招きしました!

3年生は、春から「東郷のじまん探検隊」としてふるさと学習を行っています。槇山や堂田川を歩き自然に触れたり、照恩寺さんや越前東郷駅などをめぐったり、田治生産組合の方にお世話になりながら米作りを行ったりと、実際に足を運んだり体験したりして、ふるさと東郷についての学びを深めてきました。

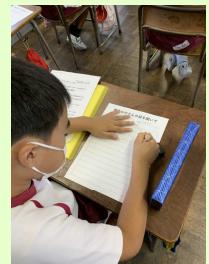


そして今回、ついに小川公民館長さんをお迎えし、東郷の歴史や自然、地区のことなど、知りたいことを直接うかがう機会をもつことができました。



「1388年に朝倉(東郷)政景が東郷に入り、槇山にとりでを造ったこと(その約100年後に、朝倉孝景が一乗谷に移った)」「1585年に長谷川秀一が豊臣秀吉から15万石を預かり、東郷城を築いたこと」「1596年に東郷槇山城は廃城となるが、江戸時代の東郷地区は宿場町としてにぎわったこと」「堂田川は、正式には徳光下江用水といって、古くから東郷の生活・農業用水として大切な水資源であること」「今の堂田川は平成5年から6年かけて整備され、上は鯉の泳ぐ

せせらぎ親水路、下に農業用水の送水管が作られたこと」などなど、たくさんのお話をとてもわかりやすく教えてくださいました。

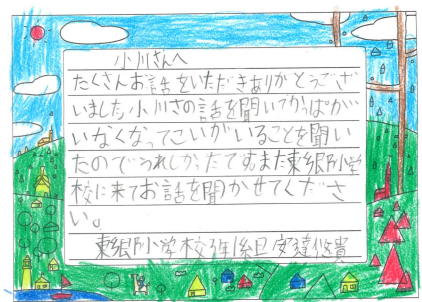
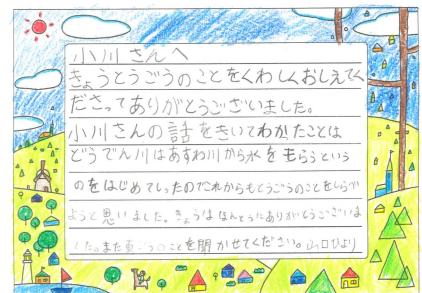


館長さんは、3年生に手作りの資料もご用意くださいました。子どもたちは、お話の後にたくさん手を挙げて質問し、分かったことを、プリントにまとめていました。3年生はもちろん、一緒に参加して学んだ私も「一乗より約100年も早く、東郷にお城(とりで)ができていたのか!」「堂田川は、上が親水路、下は用水路となっているのか!」など、改めて東郷の素晴らしさに触れることができた、貴重な時間となりました。

小川館長さん、本当にありがとうございました。

<3年生 お礼の手紙より(一部省略)>

- いそがしい中来てくださり、ありがとうございます。
ぼくは、小川さんの話を聞いて、長谷川秀一公のお墓に行ってみたいなと思いました。(Fさん)
- お話を聞いて不思議だなと思ったところがあります。
堂田川の中に、パイプが入っているのが本当なのか、不思議で、見てみたいです。(Fさん)
- 堂田川(を流れている水)が水田約400ヘクタールをうるおしていることが分かりました。(青木さん)
- 今日は、いっぱい東郷のことを教えてくださいました。ありがとうございます。お話を聞いて、おつくね祭りのことをたくさん知ることができました。また来て、お話をしてください。(Yさん)

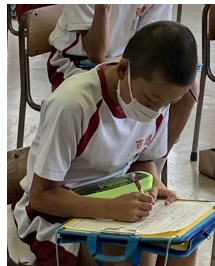
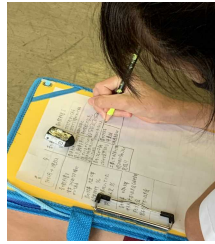


母校 東郷小学校について、学びや思いを深めています

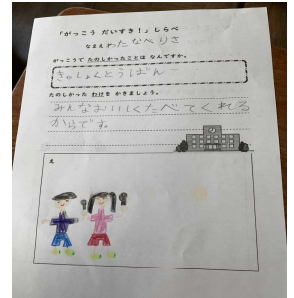
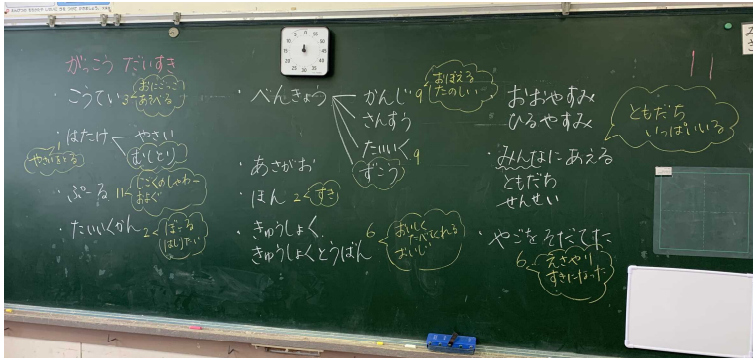


6年生は今、母校である東郷小学校の歴史について学んでいます。校長室に保管されている、東郷小に関する貴重な資料について、6年担任がまず勉強し、その内容の一部を倉元先生が中心となって6年生に伝えました。

昔使われていた教科書や、昭和当時の給食(ランチルームがあったそうです)、児童が発表会で演技をしている様子などを見ると、当時の学校生活が、写真や資料から次々に伝わってきます。6年生はワークシートに一生懸命メモしたり、写真をじっくり眺めたりと、自分たちの大先輩たちが過ごした明治・大正・昭和の東郷小学校に思いをはせていました。



1年生は、『がっこうだいすき』というテーマで、みんなで意見を出し合っています。



「こうてい」「べんきょう」「大やすみ」「きゅうしょく」など、学校の大好きなところを、1年生からたくさん教えてもらいました。中に「ともだちやせんせいにあえるから、がっこうだいすき!」とってくれた子がいました。どの意見も素晴らしく、一人一人の考えに拍手を送る1年生が、とてもステキでした。さあ!ここから、6年生や1年生が何をつかんで、何を感じ取って、私たちに伝えてくれるのか。今から本当に楽しみで、目が離せませんね。

日々の授業や活動の様子より

< 1年生 初めての絵の具に大張り切りです! >



水入れに水を準備し、パレットを開き、絵の具を出すと、子どもたちの目はキラキラ輝きました。筆を使いながら、葉っぱの色を塗ったり、いろいろな線を描きました。最後の片付けまで、とても上手にできましたよ。

